

姉妹都市との交流に新たな1ページ 公式訪問団が成果を報告

姉妹都市盟約締結5周年を記念したローテンブルク市訪問事業の報告会が6月27日、内子自治センターで行われました。5月8～17の10日間、町長をはじめ議長・町議、内子町民代表、国際交流協会ランナーなど18人の訪問団が、ローテンブ

ルク市の教育や観光、都市計画、大学誘致などの取り組みを学びました。また世界的に有名な催し「聖霊降臨祭」にも参加。報告会では「内子町で生かそうと、学んだことが今も頭の中を駆け巡っている」など、研修成果や思いを発表しました。



ローテンブルク市の建設局長から
景観保全の取り組みを学ぶ

愛媛FCのマッチタウンデー 内子町が勝利に花を添える



町内のスポーツ少年団に所属する
児童たちが選手と入場

サッカーJ2リーグに参戦する愛媛FCは7月3日、愛媛県総合運動公園ニンジニアスタジアムでジェフユナイテッド千葉と対戦しました。この日は内子町のマッチタウンデーで、町内の小学生が選手と入場した他、中学生がボールボー

イなどで試合をサポート。道の駅からりが物産展を出店し、せせらぎからは両チームに記念品が贈呈されました。試合は愛媛FCが2対1で勝利。MVPに輝いた安田晃大選手に、オーベルジュ内子の食事券が贈られました。



1_優勝旗を手に、そろって記念撮影 2_板
から落ちないように慎重に走行する

内子町の自転車チームがそろって優勝 交通安全自転車愛媛県大会

交通ルールの知識や交通安全の技術を競う「交通安全全こども・高齢者自転車愛媛県大会」は6月25日、松前町で開かれました。内子町から出場した内子小学校Aが子どもの部で、内子第一寿楽会が高齢者の部で優勝を果たしました。内子小学校は4連覇を達成し、8月3日に東京で開かれる全国大会へ出場します。内子第

一寿楽会の優勝は平成24年以来、4年ぶりでした。内子小学校の青木聖花さんは「優勝できてうれしい。これからも練習を頑張って、全国大会までにさらに上達したい」と意気込みます。全国大会に向けて夏休み中も練習に励む内子小学校自転車チームは、S字やジグザグ走行など、一つ一つの種目を丁寧に確認していました。

広がる、子育て親子の輪 支援センター来館者が1万人に

26年4月に移転・新築した内子町子育て支援センターの来館者が、7月7日に1万人に到達しました。

同センターは子どもが安心して遊べて、交流や子育ての相談ができる施設です。授乳室やホールが整備され、親子で気軽に利用できます。

1万人目に来館したのは、廣川聖子さんと聖菜ちゃん。西条市。お祝

いのくす玉を割った後、記念品が贈られました。廣川さんは「いつも温かく迎えてくれるので、里帰りしたときに利用したい」と喜びました。峯下とも子所長は「利用者から『支援センターに元氣や勇氣をもらった』と言ってもらえる。そういう場所になっているのがうれしい。もっと多くの人に利用してほしい」と呼びかけました。



みきやんが手伝いに来た小田中学校のプランター作りの様子

愛顔つなぐえひめ国体に向けて—— リハール大会のプランター作り

愛顔つなぐえひめ国体のリハール大会を彩るためのプランター作りが7月4・7日の両日、内子町内の各中学校で行われました。

苗は大洲農業高校の生徒たちが種から育てた日々草など。同校の生徒と中学生が協力し、

300個のプランターに苗を植え替えました。9月まで各中学校で育てて会場に設置する予定です。小田中・環境委員長の高岡双葉さんは「暑いので丁寧に水やりをしたい。大会の成功と選手の活躍を願って、大切に育てます」と話しました。

磨き続けた名人芸が内子座に—— 桂歌丸さんが芸歴65周年記念公演

桂歌丸さんの芸歴65周年を記念した「夏の特選大落語会in内子座」が7月20日、内子座で開かれました。市民会館などは回り尽くした歌丸さんは、全国の芝居小屋をまわって公演しています。公演では三遊亭円楽さん、三遊亭小遊三さんな

ども出演。歌丸さんと3人が出揃う場面は人気番組「笑点」をほうふつし、会場を沸かせました。歌丸さんは「内子座は雰囲気がよく、座席数も丁度いい。『65年もやって、あんなもんかよ』と言われたいようにしたい」と話していました。



65年間打ち込んできた落語を、内子座で披露した歌丸さん